

学生への Web オリ実施前には実習指導者と教員でのうち合わせと、臨地で GoPro 等を装着してのデモンストレーションを行い、実施時に生じる制約や問題点に対して次のように対応することを確認した。

- ・ GoPro をリアルタイム配信の Web カメラとして使用するには他の媒体を必要とし、契約上困難な状況があったため、有線で接続したノートパソコンから Zoom で配信する。
- ・ 配信するエリアの特徴上、画面に入る可能性のある入所者・利用者全てに同意を得る事が困難であったことから録画は行えなかったため、すべてリアルタイム配信とする。
- ・ 施設は電波状況が悪いエリアにありオリエンテーション中に送信が遮断されることがあるため、学生に通信状況を確認しながら進めていく。

2.2.2 実施状況

実習指導者には、GoPro を装着し施設内を回りながら施設の構造や学生が実習時に活動する場所等の説明を依頼した。教員は GoPro で撮影した動画を学生にリアルタイムで配信した。学生は施設内の研修室でノートパソコンを使ってオリエンテーションを視聴した。

配信された動画をパソコンで視聴する学生にはカメラはオンとするように指示し、教員が画面上で閲覧する学生の表情等を確認しながら学生の理解度や通信状況等の確認を行った。オリエンテーション内容に関する学生からの質問は、外付けの小型スピーカーを使って受信した。

3 Web オリエンテーションの評価

3.1 Web オリによる学びや気づき・意見

Web オリを受けたことによる気づきや意見については、看護学生 59 名の実習記録から Web オリについて記載された記述を抽出し内容の類似性で分類した。以下、カテゴリを〈 〉、具体的な記述を「 」で、() 内に記述数を示し、結果の一覧を表 1 に示す。

気づきとしては「カメラがあることで施設内を実際に回ることができなくても、位置関係などを知ることができた。」「感染症対策のために多目的ホールやリビングルームへの出入りが工夫されていることや、施設全体の通路がつながっていて行き止まりがない構造になっていることなどを理解しやすかった。」「指導者さんがどんな部屋なのか説明してくれながら進められたため、施設を理

表 1. Web オリエンテーションの学びや気づき・意見

カテゴリ	記述（一部抜粋）
老健施設の概要を知ることができた (13)	<ul style="list-style-type: none"> ・ カメラがあることで施設内を実際に回ることができなくても、位置関係などを知ることができた。 ・ 感染症対策のために多目的ホールやリビングルームへの出入りが工夫されていることや、施設全体の通路がつながっていて行き止まりがない構造になっていることなどを理解しやすかった。 ・ 指導者さんがどんな部屋なのか説明してくれながら進められたため、施設を理解する上ではとても分かりやすく今後施設で実習するのが楽しみである。
老健施設の雰囲気や利用者の様子を知ることができた (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的ホールやリビングルームで過ごされている高齢者の様子も画面に映っていたので、普段の施設での過ごし方を少しうかがうことができ良かった。 ・ ビデオではレクリエーションの様子が映されていたが、決められたスケジュール通りに過ごすのではなく、それぞれの生活の場として利用者のやりたいことが尊重される雰囲気であることが施設の良い点だと思った。
オンライン上で見た施設と実際に違いがあった (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に歩いてみると想像以上に距離があったり、サービスステーションや多目的ホール、リビングルームがいくつもあるため、混乱することもあった。 ・ 実際に歩いてみるとオリエンテーションでは分かっていたつもりだったこともあまり理解できていなかった。 ・ Web オリエンテーションの意味がないという訳ではないが、実際に見てみたとき、ほぼ初見状態に近いと感じた。
映像・音声の問題の影響は少なかった (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映像では多少動きのスムーズさや声の聞こえやすさには欠けたが、十分満足できる内容だった。
映像・音声が途切れて分かりにくかった (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回線が止まる影響で病棟の方への質問や病棟ならではの配置等を見ることができなかった。

ため、施設を理解する上ではとても分かりやすく今後施設で実習するのが楽しみである。」などの「老健施設の概要を知ることができた」(13)という意見と、「ビデオではレクリエーションの様子が映されていたが、決められたスケジュール通りに過ごすのではなく、それぞれの生活の場として利用者のやりたいことが尊重される雰囲気であることが施設の良い点だと思った。」(4)などの「老健施設の雰囲気や利用者の様子を知ることができた」という意見があった。

「実際に歩いてみると想像以上に距離があったり、サービステーションや多目的ホール、リビングルームがいくつもあるため混乱することもあった。」「実際に歩いてみるとオリエンテーションでは分かっていたつもりだったこともあまり理解できていなかった。」など「オンライン上で見た施設内と実際に違いがあった」(4)という意見もあった。

通信環境については、「映像・音声の問題の影響は少なかった」(7)という意見と「映像・音声途切れて分かりにくかった」(7)という両方があった。

3.2 学生からの Web オリに対する評価

Web オリの内容 (Web オリが老健施設的环境に対する理解や実習時の行動のしやすさにつながったか)、技術 (音声や画像に問題なかったか) について、老年看護実習終了時の実習評価で、「まったくそう思わない」1点～「そう思う」5点の5件法で尋ねた。単純集計した結果を表2に示す。

Web オリの内容については、「そう思う」「まあそう思う」と回答した学生が最も多かった項目は「その場に行って学修したいと感じた」(59名中51名: 86.4%)で、平均値も4.25点と最も高かった。次に「施設内の生活の場としての雰囲気が伝わった」(48名:

81.4%)「施設内の様々な場所の特徴が分かった」(46名: 78.0%)の順で多かった。Web オリ技術については、「そう思わない」「全くそう思わない」と回答した学生が多く、特に「通信環境は問題なかった」は59名中37名(62.7%)が問題ありと感じていた。

4 考察

4.1 Web オリの評価

学生からの施設オリに対する気づきや意見を検討した結果、Web オリによって施設の概要を知り、老健施設的环境への理解を深めることができていた。オンラインでの実習施設オリエンテーションに対する学生からの意見を報告した研究では「オンラインを活用して映像や実習指導者との質疑応答の機会が得られれば十分に理解できると思う」と回答した学生が8割以上であったことを報告している³⁾。今回のWeb オリでは、GoProを用いて施設内の映像をリアルタイム配信したこと、見学しながら疑問について指導者から回答を得られる機会を設けたことが、実習環境を理解する上で重要であったといえる。今回の実施により、オンライン上での対話の機会を設定することがオンライン活用に重要であること³⁾が確認できたと考える。さらに看護学生は、生活の場としての環境の工夫に気づくことができていた。老年看護実習では「生活の場における看護の役割を理解する」という目的がある。その目的を達成するためには、老健施設が日常生活を安全に快適に送るために工夫された環境であることを知る必要があり、Web オリによって老健施設に対する理解を深めることができた」と評価できる。

加えてWeb オリを受けることで約9割の学生が「その場に行って学修したい」と感じていた。「今後実習

表2. Web オリエンテーションの内容・技術について (回答者 59名)

質問項目	回答 (人数)					平均点 (/5)
	そう思う	まあそう思う	どちらとも 言えない	そう思わない	全く そう思わない	
オリエンテーションの内容について						
その場に行って学修したいと感じた	23	28	8	0	0	4.25
施設の生活の場としての雰囲気が伝わった	19	29	10	1	0	4.12
施設内の様々な場所の特徴が分かった	19	27	11	2	0	4.07
Web オリは実習中の行動に役立った	15	29	11	4	0	3.93
施設で行動する際の不安が軽減できた	17	21	16	5	0	3.85
Web オリの内容に満足した	9	33	14	3	0	3.81
実習で移動する場所の位置関係が把握できた	15	19	19	6	0	3.73
技術について						
通信環境は問題無かった	3	10	9	31	6	2.54
細かい部分まで見えた	1	10	21	23	4	2.68
音声に問題は無かった	4	13	14	28	0	2.88
カメラ操作は問題無かった	12	20	17	7	3	3.53

するのが楽しみ」という意見からも、画面を通して治療の場とは異なる老健施設の暖かい雰囲気や高齢者と様々なスタッフとの交流の場面を垣間見ることで、実習に対する不安が軽減し実習意欲が高まったことが伺える。

以上のことから、コロナ渦における対応として実施した Web オリによって、実習初日の施設内オリエンテーションの目的は達成することができたと考える。

4.2 Web オリの課題

Web オリの課題としては、通信環境に影響されるということである。画像や音声に問題ありと感じていた学生と問題が少なく感じていた学生が混在していたことから、通信が不安定で日によって受信状況に差があったことが原因と考えられる。Web オリを行う場合は、事前にそれらへの対処を検討する必要がある。その他、オンライン上で見学した施設内と実際に歩いてみた施設内では印象が違い、混乱につながった学生もいたことも挙げられる。オンラインによる施設内見学は実習環境を知るためには効果的であるが、より理解を深めるためには実際に足を運ぶことは重要である。今後はオンラインの利点を活かしながら、より効果的な施設内オリエンテーションについて検討していく。

5 謝辞

本活動にご理解くださり、ご協力いただいた実習施設の指導者の皆様に深謝いたします。

本稿は、「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる人材育成事業」（令和3年度大学改革推進等補助金）の交付を受けて実施した教育を評価したものである。

6 文献

- 1) 上坂唯子, 舟島なをみ: 看護学生が効果的であると知覚するオリエンテーション—実習環境への適応促進に向けて—. 看護教育学研究, 31 (2): 23-37, 2022
- 2) 山下暢子, 舟島なをみ 他: 看護学実習中の学生が直面する問題. 看護教育学研究, 27 (1): 51-65, 2018
- 3) 牛久保美津子: 訪問看護実習におけるオンラインシステム活用の学生の意見と効果的な方法の検討. 群馬保健学研究, 43: 1-8, 2022

Implementation and Evaluation of an Online Orientation Using a Web Camera in Geriatric Nursing Training

Yoko WATANABE Michiyo YAMANAKA Yuko SHINAGAWA

Prefectural University of Hiroshima, Faculty of Health and Welfare Department of Health and Welfare, Nursing Course

Abstract

Orientation at training facilities is essential for nursing students to adjust to their new environments. The COVID-19 pandemic led to restrictions on facility tours as a type of training orientation at health service facilities for the elderly. To help students understand the environment of the health service facility for the elderly they were about to visit for the first time in such a situation, we conducted an in-facility orientation, in which a training supervisor wore a web camera, and transmitted images inside the facility in real time (web-based orientation). The subsequent analysis of training records and questionnaire responses revealed that the web-based orientation promoted students' deeper understanding of the facility environment, and increased their motivation for training. In the future, we will consider more effective training orientation while leveraging the advantages of online learning.

Key words: Geriatric nursing training, health service facility for the elderly, web-based orientation